

長野市水道ビジョン（改訂案）に対する市民意見等の募集結果について

1 趣 旨

長野市水道ビジョンの改訂作業の一環として、広く市民の皆さまからご意見をお聞きするため、まちづくり意見等の公募制度により、「長野市水道ビジョン（改訂案）」を公表し、市民の皆さまからご意見等を募集（パブリックコメント）しました。その結果をお知らせします。

2 募集期間

平成26年7月14日（月）～ 8月15日（金）（33日間）

3 募集方法

長野市上下水道局ホームページ、水道整備課（第二庁舎9階）、行政資料コーナー（第一庁舎1階）、スクランブルひろば（もんぜんぷら座3階）、市立長野図書館、各支所の窓口において、「長野市水道ビジョン（改訂案）」を公表し、書面又は電子メールで意見・提案の募集を実施しました。

4 募集結果

- （1）意見・提案等の提出者数 13人 （提出方法：ファクシミリ2件、持参11件）
 （2）意見・提案等の件数 18件

5 意見・提案等の内容別件数

意見・提案等の内容	件数
第6章 推進する実現方策	16
1 安全な水の供給 に関すること	(1)
2 強靱な水道 に関すること	(5)
3 持続可能な事業運営 に関すること	(10)
第7章 財政収支の見通しに 関すること	1
第8章 検討の進め方とフォローアップ に関すること	1
合 計	18

6 意見・提案等に対する上下水道局の考え方

対応区分	対応方針	件数
1	改訂案を修正・追加する。	0
2	改訂案に盛り込まれており、修正しない。	12
3	改訂案は修正しないが今後の取組において検討又は参考とする。	2
4	検討の結果、改訂案に反映しない。	1
5	その他	3
	合 計	18

改訂案の当該箇所	意見・提案等の概要	上下水道局の考え方	対応状況
第6章 推進する実現方策			
1 安全な水の供給(1件)			
1-1 水道水質の向上 (P64)	活性炭注入設備というものが、どういった目的で設置されるのか、示して頂くと安心します。	長野市水道事業の主要な水源の裾花川、犀川の原水に含まれるカビ臭の原因となる物質を除去し、お客さまによりおいしい水道水をお飲みいただくために設置するものです。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
2 強靱な水道(5件)			
2-1 効果的・効率的な施設の更新 (P69)	老朽管解消事業の拡充ですが、どういった管を使用し、およそ何年もつのかを知りたいです。また、地震が起きた時、どのくらいの震度まで耐えられるのかを明記して頂くと安心します。	使用する水道管は、ダクタイル鋳鉄管の耐震管(GX型)を採用します。メーカーの検証結果により「100年の使用が期待できる」といわれています。 また、どのくらいの震度まで耐えられるのかは、土質や地下水位等いろいろな条件により異なりますので、単純に震度で表すことはできません。なお、阪神・淡路大震災や東日本大震災で被害を受けたという記録はありません。	5 その他
2-2 災害に強い水道の整備 (P74)			
2-1 効果的・効率的な施設の更新 (P68～70)	ビジョンについて異論は少ない。 財政的な厳しい見通しの状況でインフラ設備が無駄になっている状況は業者任せが原因では？ 水道使用者が負担を支えられる範囲有りと思う。	施設と管路の整備計画は上下水道局で作成しています。今までは人口の増加等に伴い、施設を拡張してきましたが、節水機器の普及や人口減少時代の到来により水需要が減少し、現在は施設の能力に余裕があります。今後は将来の水需要を見定めた施設の統廃合やダウンサイジングを行うとともに、長寿命管を採用するなど効率の良い更新事業を実施します。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
2-1 効果的・効率的な施設の更新 (P68～70)	水道料金が上がらない様に何か策を考えていますか。努力をして欲しい。	施設の延命化を図るとともに、将来の水需要を見定めた施設の統廃合やダウンサイジングを行い、長寿命管を採用するなど効率の良い更新事業の実施に努めています。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
2-1 効果的・効率的な施設の更新 (P70)	水道管の耐用年数の記載がありますが、水道施設の耐用年数はどのくらいですか。また、更新についてはどの様に考えますか。	地方公営企業法の法定耐用年数は、コンクリート構造物60年、建築50年、機械設備15年、計装設備10年となっています。水道ビジョンでは、基本的に法定耐用年数の1.5倍の年数で更新時期を検討しています。また、更新費用を抑制するため、施設の延命化を図るとともに、将来の水需要を見定めた施設の統廃合やダウンサイジングを行い、長寿命管を採用するなど効率の良い更新事業を実施します。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
2-1 効果的・効率的な施設の更新 (P70～71)	簡易水道施設の老朽化も進んでいると思われませんが、地域の実情に沿った更新計画を進めてほしい。 (新しい水源の確保、農業水源からの提供等)	簡易水道の小規模な給水エリアについては、給水規模に対して更新事業費が大きくなるので、従来の管路布設による整備手法にとらわれない多様な給水手法を視野に入れながら、安全な水道水の安定供給に努めてまいります。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。

改訂案の当該箇所	意見・提案等の概要	上下水道局の考え方	対応状況
3 持続可能な事業運営(10件)			
3-1 適正な料金による健全な水道経営 (P78)	簡易水道事業の有収率が上水道に比べて低いが、今後どのように有収率を上げていくのか？	簡易水道統合事業により各配水池に流量を監視する計器等を設置しました。今後、そのデータを基に漏水調査を実施し、解消工事を実施することで、有収率の向上に努めます。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
3-1 適正な料金による健全な水道経営 (P80)	赤字の旧合併町村(簡易水道)と長野市の水道料金を区別して(格差をつけて)徴収してはどうか？ 私達の水道を維持管理していくことの大変さが分かった。	公平な住民サービスの観点から同一の料金としています。	4 検討の結果、改訂案に反映しない。
3-1 適正な料金による健全な水道経営 (P80)	長野市内に県営水道と市営水道がありますが、ひとつにし同じ料金にできないのですか？	現在、長野市には市営水道と県営水道の2つの水道事業があり、それぞれ料金体系や手続き等が異なることは公平な住民サービスの観点から見直しが必要であり、平成26年度から長野県企業局、長野市、千曲市、上田市、坂城町と「水道事業運営研究会(仮称)」で様々な角度から連携方法を研究し、広域化を視野に入れ、より良い事業形態のあり方について検討します。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
3-2 維持管理の効率化と水道技術の継承 (P82)	資格取得や講習により調達やランニングコスト低減に成果をどう求めるか不足しているように思う。	高いレベルの人材を育成し、水道事業の維持管理に必要な技術力が向上することにより、効率的な維持管理ができると考えています。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
3-2 維持管理の効率化と水道技術の継承 (P83)	経費削減について水道事業を運営するに当たり職員一人当たりの給水人口はどの位になっていますか。他事業体と比較して多いですか、検討してください。	平成25年度の職員一人当たりの給水人口は、2,516人(279,234人/111人)となっています。 職員一人当たりの給水人口は、業務の委託状況、浄水場や水源などの施設配置により差がでるため、ただ単純に比較することはできません。	5 その他
3-2 維持管理の効率化と水道技術の継承 (P83)	今後老朽管の更新、水道施設の更新等を行わないと適切な管理ができないばかりか、安心で安定した水道水の供給が出来ないことは理解できる。今後更新を進める中で、長野市として新たな民間活力の導入を積極的に進めて行くことも、安心を引き継ぐ長野の水道に繋がると思われる。いろいろな課題があると思いますが出来るところから取り組んでほしい。	水道事業の効率的な運営とお客さまサービスの向上を図るため、第三者委託やコンセッション等の新たな民間活力の導入の可能性について検討します。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
3-3 お客さまサービスの充実 (P84~85)	長野市の小学校では、小学校4年生が市内の施設見学のひとつとして浄水場に行きます。学校予算の関係又は年間行事の中で盛り込まれない学校があった場合には、局職員が直接学校に出向いて出前教室を行ったらどうでしょうか？ 職員さんは大変でしょうが、水道のPRをするにはとても効果があると思います。下水道の出前講座があるとお聞きしています。一緒にすることも可能ではないでしょうか？親子見学会の内容を教室で行えばよいと思いますが検討してみてください。	上水道の出前講座の開催については、学校関係者と協議をしております。 今後とも水道事業の理解と関心を深めていただくため、出前講座をはじめ積極的なPR活動を実施してまいります。	3 改訂案は修正しないが今後の取組において検討又は参考とする。

改訂案の当該箇所	意見・提案等の概要	上下水道局の考え方	対応状況
3-4 環境対策の実施 (P86)	環境対策の実施の中で水道事業における建設副産物の有効利用についての提案 発生した上水道汚泥は、ごみ処分場の覆土及びセメント工場に搬出し処理していると聞きました。現時点では良いが将来に向けた検討も必要になるのではないかと思います。大都市では、肥料やブロックの材料等に有効利用しているようですが、長野で行うには発生量も少なく難しいと思います。幸い、長野県は緑地もあり農業も林業も盛んです。地の利を生かした方法があるはずで。長野市には、信州大学も農業高校もあります。県庁所在地の長野市から産学官の共同研究等を行って、お金のかからない有効利用を検討していくことが将来の維持管理費の削減につながると思いますので検討をしてみてください。	今後も水道事業における建設副産物について、その削減及び有効利用に努めてまいります。有効利用の方法についても、ご意見を参考とさせていただき、いろいろな方法について今後検討します。	3 改訂案は修正しないが今後の取組において検討又は参考とする。
3-4 環境対策の実施 (P86)	エネルギー問題 原発に頼らない自然エネルギーの利用は考えていますか？	環境対策として小水力発電や太陽光発電の活用を検討してまいります。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
3-4 環境対策の実施 (P86)	長野市水道ビジョンの中では、「未利用エネルギーの活用として小水力発電、太陽光発電等の水道システムにおける未利用エネルギーの活用について検討する」と明記されています。エネルギーの有効利用を考える姿勢は、好感がもて賛成です。費用対効果もありますが、将来に渡って料金値上げを市民に願う局のイメージが違ってくると思います。最初は、施設の夜間照明の電気代でもよいと思います。浄水場施設の有効利用を図るため、施設の上部又は広場に太陽光発電の導入を積極的に検討して欲しい。	環境対策として小水力発電や太陽光発電の活用を検討してまいります。また、更新時に高効率なポンプ設備等を導入することにより、電力使用量の低減に努めてまいります。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。
第7章 財政収支の見直し(1件)			
2 財政収支の見直し (P90)	平成30年度以降は赤字となっていますが水道料金は上がるのですか？	料金算定に当たっては、お客さまのご理解をいただくための情報提供を十分に行った上で、お客さま負担を極力抑えるため、より一層の経営の効率化を図りながら、中長期的な経営状況を分析し、最適な料金水準を検討してまいります。	5 その他
第8章 検討の進め方とフォローアップ(1件)			
2 フォローアップ (P95)	水道ビジョンは10年計画ですが、経済状況に応じて見直しをするのですか、しないのですか？	定期的に進捗状況を確認することで事業の成果や効果を把握し、必要に応じて計画の見直しを図ります。	2 改訂案に盛り込まれており、修正しない。